

## 主要課題 2 男女共同参画の視点に立った意識の改革

### 2- (1) 男女共同参画の視点に立った意識改革と実践

男女の地位の平等感は、男性の方が優遇されているという意見が多く見られます。固定的性別役割分担意識や性差別に関する偏見・固定概念、アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）は、女性・男性いずれにも存在しており、男女共同参画や女性活躍に関する取組みの進展が十分でない要因の一つに挙げられていることから、男女双方の意識啓発・理解促進に取り組んでいます。

#### ○各分野における男女の地位の平等感

(%)

項目	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
家庭の中で	6.4	34.8	38.6	7.8	2.2	10.5
職場の中で	10.7	40.6	27.8	5.3	2.1	13.7
地域社会の中で (町内会、自治会など)	10.1	42.6	27.0	3.3	0.9	16.2
社会通念や慣習やしきたりなどで	13.8	53.5	17.4	2.8	0.8	11.9
法律や制度のうえで	9.0	37.1	36.8	4.0	1.3	11.9
政治の分野で	25.1	45.8	16.5	1.8	1.0	10.0
学校教育の分野で	5.6	27.0	49.1	2.7	0.6	15.1

資料出所：愛媛県「令和6年度愛媛県男女共同参画に係る意識調査」

## ■男女共同参画社会づくり推進事業

### ○男女共同参画社会づくり推進県民大会の開催

男女共同参画に向けての意識の高揚や自発的な活動を促進し、県民総ぐるみ運動を展開するため、男女共同参画社会づくり推進県民大会を開催しました。

- ・開催日：令和7年7月25日（金）
- ・場 所：愛媛県男女共同参画センター 多目的ホール  
(実地+オンライン配信)
- ・参加者：県民議会議員及び一般県民等 299名  
(来館174名、オンライン125名)

アーカイブ配信（1か月間）動画再生回数 113回

- ・テーマ：女性が住みたい地域をつくる  
～企業、行政、地域、家庭の役割～
- ・内 容：基調講演 講師：野村 浩子

(日経 WOMAN 元編集長、(公財)日本女性学習財団理事長)

対 談 講師：桐木 陽子（県民議会会長、松山東雲短期大学教授）

## ○教育関係者向け研修の開催

- ・日 時：令和7年6月14日（土）9時30分～12時00分
- ・場 所：愛媛県総合教育センター
- ・参加者：若手教員、教員を目指す大学生等 36名
- ・内 容：講義、グループワーク  
「若者のライフデザインと男女共同参画社会  
～ジェンダーの視点を踏まえた愛媛方式での授業の実践」  
講師：大野 小百合（東温市立川内中学校 教頭）  
講師：山口 美代子（キャリアコンサルタント）

※県総合教育センターのえひめ教師塾において実施

## ○男女共同参画推進地域ミーティング開催事業

地域における男女共同参画社会づくりを一層推進するとともに、機運の醸成を図るため、地方局職員、市町職員及び地域で活躍するリーダーを対象とした男女共同参画推進地域ミーティングを開催し、地域課題の解決に向けた打開策を見出し実践していくための意見交換等を行いました。

- ・主 催：各地方局(共催：管内各市町)
- ・参加者：地方局男女共同参画推進班員、市町男女共同参画担当課長、  
地域で活躍する者、その他(計108名)

地方局	東 予	中 予	南 予
日 程	令和8年3月3日(火)	令和7年11月27日(木)	令和7年11月7日(金)
会 場	東予地方局	中予地方局	南予地方局
講 師	料理研究家・食育アドバイザー／作曲家 中村 和憲 氏	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 副学長・教授 桐木 陽子 氏	料理研究家・食育アドバイザー／作曲家 中村 和憲 氏
参加者数	22名	23名	63名
内 容	頑張りすぎず育む幸せ ～ありのまま、自分らしく～	世代間ギャップをチャンスに変える組織づくり ～男女共同参画は“特別なこと”じゃない～	『60%』の日々で育むHAPPY ～ありのあま、自分らしく～

## 2—(2) 男女共同参画の視点に立った学びの推進

意識調査では、「男の子は男らしく、女の子は女らしくしつけるのがよい」という考え方に肯定的な意見が、前回調査から 20.7 ポイント減少しています。小・中・高校では、男女混合名簿が導入され、適切な場面で使用されています。

### ○教育に対する意識

項目		肯定的意見	否定的意見	どちらとも いえな	無回答
男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしくしつけるのがよい	H26	52.3%	15.0%	29.3%	3.3%
	R 元	44.5%	25.8%	27.1%	2.6%
	R6	23.8%	33.6%	42.7%	0%
学校での男女別の制服や並び方、色分け、呼び分けなどの習慣をなくした方がよい	H26	32.8%	19.5%	43.4%	4.3%
	R 元	35.9%	16.5%	43.8%	3.7%
	R6	32.6%	23.7%	43.9%	0%
女性は文系、男性は理系の分野が向いている	H26	4.3%	56.0%	35.8%	4.0%
	R 元	3.9%	60.7%	31.9%	3.5%
	R6	6.5%	61.7%	31.9%	0%
知的な能力は、性別による差よりも個人差の方が大きい	H26	80.4%	4.7%	10.9%	4.0%
	R 元	82.1%	4.4%	9.5%	4.0%
	R6	59.7%	13.5%	26.9%	0%

資料：愛媛県「令和6年度愛媛県男女共同参画に係る意識調査」